

NGO・外務省定期協議会 2017 年度「全体会議」配布資料

2016 年度「連携推進委員会」の振り返り

連携推進委員会 NGO 側委員一同

【成果】

2016 年度の連携推進委員会では、約 50 名の NGO 関係者が出席し、また、外務省からは大臣政務官・国際協力局長・NGO 大使も出席し、NGO と ODA の連携に関する情報共有と議論が行われ、相互理解がさらに進み、以下のような成果を得ることができた。

1 連携中期計画の実施に関する議論が進展

昨年度は「NGO と ODA の連携に関する中期計画（連携中期計画）」の実施 2 年目にあたり、1 年目の進捗報告とそれを受けた 2 年目の実施がなされた。2 年目の進捗報告は後日まとめられ、連携推進委員会にて報告されるが、現時点では多くの項目で進展が見られない、あるいは前年から特に変化がない、という状況であり、逆に NGO 活動環境整備支援事業の予算が 2 年続けて削減されるなど、本連携中期計画を実施していく上で困難な状況が多く生じた。

2 草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）にかかるレビューの実施

2010 年度より NGO・外務省双方が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のプロジェクト地を訪問し、ODA 事業の実効性についてフォローアップを重ねてきた。2016 年度も、セルビアおよびモンゴルにてフォローアップ調査が行われた。特に、実施団体の選定段階に NGO が関わるなど、調査時の連携だけではなく、事前準備から NGO と政府の連携を意識することでより効果的なフォローアップ調査を行うことができた。

3 地方開催の実現

2014 年度以降、行われてこなかった地方開催が、NGO 福岡ネットワークの協力のもと、ODA 政策協議会との同日開催という形で実現した。当日は九州地域の NGO も多数参加し、活発な意見交換が行われた。

【今年度の重点課題】

2017 年度の連携推進委員会で重点的に議論したい課題は以下の通りである。

（1）連携中期計画の実施・モニタリング・評価

3 年目を迎える今年度以降、この連携中期計画を実施・実現していくためにも、NGO、外務省双方に、その進捗の確認をしつつ、計画の遂行、実現に真摯に取り組む姿勢が望まれる。

（2）日本 NGO 連携無償資金協力の予算・手引きについて

昨年度、日本 NGO 連携無償資金協力の手引きについて、民間援助連携室と NGO 側連携推進委員の間で協議が行われてきた。全体会議では、昨年度の協議の振り返りを踏まえ、NGO 側で新たに実施したアンケート（全体会議までに終了予定）をもとに、同事業の資金ニーズについて話し合うことを提案する。また、よりよい日本 NGO 連携無償資金協力をつくり高い開発協力の効果を得るために、NGO 側連携推進委員では、今年度より同事業の全実施団体を対象に、手引きに関するアンケートを実施している（全体会議までに終了予定）。民間援助連携室と NGO 側連携推進委員の間で、本アンケートの結果をもとに、連携推進委員会及びその他の機会を活用し、通年で定期的に手引きについて協議を行うことを提案したい。

（3）NGO 活動環境整備支援事業の予算削減への対応

近年、NGO 活動環境整備支援事業を取り巻く環境は厳しく、予算も減額の傾向が続いて

NGO・外務省定期協議会 2017年度「全体会議」配布資料

いる。これにより、日本の NGO が、事業を行う前提となる組織基盤強化の機会が限られてきているとともに、2015 年度に外務省と NGO でともに策定した連携中期計画の実現が困難な状況に陥っている。全体会議では、NGO 活動環境整備支援事業の重要性を再度確認し、本事業の強化にむけて NGO・外務省の双方が連携して取り組むことを提案する。

(参考：連携中期計画と NGO 活動環境整備支援事業)

中期計画において「NGO 活動環境整備支援事業」を通じて実施することになっているのが、以下の内容である。これを 2019 年度末までに実現するためには、「N 環」の減額傾向の反転と増額が必要である。

- (1) 企業の活動と NGO の活動の連携強化についての検討
- (2) ODA や ODA を通じた NGO による事業の分野の在り方についての建設的政策提言・アドバイスの実施、優れた ODA 案件の形成のための貢献・協働
- (3) NGO の ODA との国際場裡でのさらなる協働の強化（国際機関等の国際場裡での日本の NGO の参画と貢献・連携の可能性の拡大）
- (4) NGO 相談員制度のパフォーマンスの向上（ODA 広報や NGO の国際協力活動に関して市民の紹介に応え、NGO の活動の促進・強化を図る）
- (5) NGO の ODA 以外の資金調達を一層強化するための方途について多様な可能性を検討する。

【2016-2017 年度 NGO 側連携推進委員】

2017 年度はより幅広い NGO の意見を連携推進委員会に反映させるため、連携推進委員の追加募集を行ったところ、ネットワーク NGO が選出する 6 名とネットワーク NGO が推薦する 1 名が立候補し、就任した。この結果、連携推進委員は、2016 年度から継続の 4 名の連携推進委員（うち 1 名は所属ネットワークを変更）に加え、合計 11 名となった。

(1) ネットワーク NGO からの選出

区分	氏名	上段：所属ネットワーク 役職 下段：所属団体 役職
新規	浅香 勇貴	(特活) NGO 福岡ネットワーク 事務局員
新規	熱田 典子	(特活) 関西 NGO 協議会 副代表理事 (公社) アジア協会アジア友の会 副事務局長
継続	井川 定一	(特活) 名古屋 NGO センター 政策提言委員 (特活) アイキャン 事務局長
新規	市川 斉	(特活) 国際協力 NGO センター 理事 (公社) シャンティ国際ボランティア会 常務理事
継続	稲場 雅紀	市民ネットワーク for TICAD 世話人 (特活) アフリカ日本協議会 国際保健部門ディレクター
継続	今西 浩明	(特活) 国際協力 NGO センター 連携推進委員 (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン 支援事業部長
新規	折居 徳正	日本 NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) コーディネーター
継続	小美野 剛	(特活) ジャパン・プラットフォーム NGO ユニット 副代表幹事 (特活) CWS Japan 事務局長

2017年6月6日

NGO・外務省定期協議会 2017年度「全体会議」配布資料

新規	坂西 卓郎	神戸 NGO 協議会 運営委員 (公財) PHD 協会 事務局長
新規	堀江 良彰	GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会 (特活) 難民を助ける会 事務局長

(2) ネットワーク NGO からの推薦

新規	安達 三千代	(特活) IVY 事務局長 ※(特活) 国際協力 NGO センター推薦
----	--------	--

【事務局】

(特活) 国際協力 NGO センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5F

Tel: 03-5292-2911 / Fax: 03-5292-2912 / Mail: advocacy@janic.org (堀内・水澤)

以上

NGO・外務省定期協議会 2016年度「連携推進委員会」議題一覧

■第1回 連携推進委員会（2016年7月20日@外務省）

1. 冒頭挨拶（5分）
【山田 滝雄 外務省 国際協力局 局長】
2. 報告事項
 - (1) 「グローバルフェスタ JAPAN2016 開催告知及び出展要項について」
【豊田 尚吾 外務省 国際協力局 政策課 企画官】
 - (2) 「草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）」フォローアップ調査報告
（ミャンマー、コンゴ共和国・コンゴ民主共和国）
【白幡 利雄 （特活） AMDA 社会開発機構 海外事業部】
【永岡 宏昌 （特活） アフリカ地域開発市民の会 代表理事】
【宮下 匡之 外務省 国際協力局 開発協力総括課 課長】
3. 協議事項
 - (1) NGO と ODA の連携に関する中期計画フォローアップ
【中村 仁威 外務省 国際協力局 政策課 課長】
【関 泉 外務省 国際協力局 民間援助連携室 室長】
【今西 浩明 （特活） 国際協力 NGO センター / 連携推進委員】
4. 閉会挨拶（5分）
【今西 浩明 （特活） 国際協力 NGO センター / 連携推進委員】

■第2回 連携推進委員会（2015年12月13日@外務省）

1. 冒頭挨拶（5分）

【小田原 潔 外務省 大臣政務官】

2. 報告事項

(1) 国際協力事業における安全対策（15分）

【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】

【小美野 剛 （特活）CWS Japan 事務局長】

【折居 徳正 NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）】

(2) グローバルフェスタ JAPAN2016 のご報告（5分）

【豊田 尚吾 外務省 国際協力局 政策課 企画官】

(3) 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の「パートナー・ポータル」について（5分）

【廣田 司 外務省 国際協力局 緊急・人道支援課 課長】

(4) 草の根・人間の安全保障無償資金協力フォローアップ調査報告（10分）

【今福 孝男 外務省 国際協力局 開発協力総括課 課長】

(5) アジア防災閣僚会議の報告（10分）

【小美野 剛 （特活）CWS Japan 事務局長】

【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】

3. 協議事項

(1) TICAD VI の日本の取組実施における NGO との協力（20分）

【稲場 雅紀 （特活）アフリカ日本協議会 国際保健部門ディレクター】

【望月 寿信 外務省 アフリカ部 アフリカ第二課 地域調整官】

【大場 雄一 外務省 国際協力局 国別開発協力第三課 課長】

【関 泉 外務省 国際協力局 民間援助連携室 室長】

4. 閉会挨拶（5分）

【井川 定一 （特活）名古屋 NGO センター 政策提言委員 ／ 連携推進委員】

■第3回 連携推進委員会（2017年2月23日@福岡リファレンス駅東ビル）

1. 冒頭挨拶（5分）
【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】
2. 報告事項
 - (1) 国際協力事業における安全対策（10分）
【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】
 - (2) G7 気候変動と脆弱性専門家会合（ラウンドテーブル）および G7 気候変動と脆弱性 WG（10分）
【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】
 - (3) TICAD 目標達成に向けた NGO の取り組みと連携の在り方について（10分）
【井川 定一 （特活）名古屋 NGO センター 政策提言委員 ／ 連携推進委員】
【牛尾 滋 外務省 国際協力局 参事官／国際協力事業安全対策統括担当】
【関 泉 外務省 国際協力局民間援助連携室長】
3. 協議事項
 - (1) 日本 NGO 連携無償資金協力の制度と手引きのレビューについて（30分）
【井川 定一 （特活）名古屋 NGO センター 政策提言委員 ／ 連携推進委員】
【関 泉 外務省 国際協力局民間援助連携室長】
 - (2) 地方の NGO から見た NGO 環境整備事業について（30分）
【今西浩明 （特活）国際協力 NGO センター ／ 連携推進委員】
【関 泉 外務省 国際協力局民間援助連携室長】
 - (3) NGO と ODA の連携に関する中期計画の平成 28 年の進捗状況について（15分）
【今西浩明 （特活）国際協力 NGO センター ／ 連携推進委員】
【関 泉 外務省 国際協力局民間援助連携室長】
4. 閉会挨拶（5分）
【定松栄一 （特活）国際協力 NGO センター（JANIC）事務局長】

以上